

訪問看護ステーションつくしのえん

管理者 三好 明子

今回は訪問看護ステーションつくしのえんを利用するまでの手順と、つくしのえんの名前の由来をお伝えします。

訪問看護を利用してみたい方は、まずは主治医や看護師、ケースワーカーへご相談ください。その後、訪問看護師から訪問看護について説明させていただいた上で、利用を希望する方は契約となり、訪問日程などの話し合いをすすめていきます。

次に、つくしのえんの名前の由来ですが、つくしのえんには「みんながまるく(円:えん、丸:まる)つ

ながり(縁:えん)、生活していくことをめざす」という思いを込めています。「つながり」を大事にして皆様に支援していきます。

今年度は3回に渡ってつくしのえんの概要を紹介してきましたが、それも今回で最終回となります。いつでも連載終了ではないので、安心してください。

来年度からはより具体的な取



組を紹介していきたいと思っていますので、よろしく願いいたします。

訪問看護ステーションつくしのえんの詳細については、
電話 017-718-7113
まで
お気軽にお問合せください。



つくしが丘病院に来られる方、面会を希望される方へご協力をお願いします

- 病院に来られる方(患者、患者の家族、業者等)
 - ・来院中はマスク着用と手指消毒を行ってください。
 - ・発熱等かぜ症状がある場合や新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の検査が陽性となった場合は来院を控えてください。
- 面会を希望される方
 - ・面会は15分、2名程度とします。
 - ・患者・面会者ともに面会中はマスクを着用してください。
 - ・面会中の飲食は控えてください。
 - ・家族・保護者・治療に関係する者以外の面会は控えてください。
- 外出泊される方
 - ・外出泊の迎え等の付き添いは2名程度としてください。
 - ・外出泊中は、手指消毒や混雑した場所でのマスク着用等の感染対策を行ってください。
 - ・外出泊中に発熱等の症状が現れた場合、可能であれば外泊を延長し、療養後に帰院してください。

つくし つめこみニュース

つくしが丘病院では、チーム医療に参加していただける仲間を募集しています。



例えば医師の場合…
急性期救急医療から児童思春期、精神鑑定などの司法精神医学に至るまで幅広く診療をしており臨床経験をしっかり積めるほか、精神保健指定医、精神科専門医などの取得にも十分期待にお応えすることができます。また、メリハリのある勤務体系のため、プライベートな時間も充実させることができます。



青森県立つくしが丘病院
〒038-0031 青森市三内字沢部353番地92 TEL 017-787-2121
ホームページ <https://aomori-tsukushigaoka.jp/>
アクセス
青森市営バス
・古川バス停から「つくしが丘病院行き」又は「岩渡行き」約20分
タクシー
・JR青森駅から約20分
・JR新青森駅から約5分



青森県DPAT出動しました

令和6年1月1日午後4時10分頃、能登半島地震が発生しました。震度7という非常に大きな地震で、津波や火災も発生し、死者数241人、住宅被害は5万7,119棟と発表されています(2月7日現在)。

発災当日の1月1日、DPAT事務局が本部を立ち上げ、同月3日、石川県のDPAT調整本部から中部ブロックのDPATに対して、第1陣の派遣要請が出されました。

DPATは、調整本部のほかに、活動拠点本部が設置されます。全国各地から派遣されたDPAT隊は、まず、活動拠点本部に参集し登録後、派遣地域が指示されます。派遣地域には指揮所が設置されており、さらに指揮所の運営隊

と活動隊に分かれます。当院のDPAT先遣隊は4名編成で、医師1名、看護師2名、業務調整員1名の計4名。青森県内から先に派遣された弘前愛成会病院(弘前市)、青南病院(八戸市)に続いて、当院の第1次隊は1月21日から、第2次隊は1月29日から、それぞれ5日間の活動を行いました。

第1次隊は1月20日午前6時に出発し、翌21日に石川県七尾市の活動拠点本部に入りました。そこから派遣されたのは、火災やビルの倒壊で何度も報道されている石川県輪島市。輪島市は、人口およそ2万2千人、そのうちおよそ半数が65歳以上の高齢者で、被災自治体としては最も多い103名の死者数と発表されています

医療連携室 平野 喬大(2月7日現在)。輪島市の指揮所は、輪島市役所内に設置されており、DMAT(災害医療支援チーム)や日本赤十字社の医療チーム、DHEAT(災害時健康危機管理支援チーム)等も同じスペースで指揮を執っていました。私たちは、先に活動に入っていた静岡県DPATから引き継ぎを受け、翌22日から指揮隊としての活動を始めました。

活動は、精神的不調をきたした被災者の診療やケアだけではありません。支援をする上で、食料や資機材もすべて準備して活動を行います。そのため、食事のこと、宿泊先の調整等、自らの健康管理もとても大切です。被災地では、コロナ・インフルエンザ・ノロといった各種感染症も広まって



第1次隊出動



輪島市の様子



輪島市指揮所

おり、DPAT隊員自らがり患してしまうと、活動途中での撤退も起こりえますが、幸いそういった事態に陥ることはなく、5日間の活動を送ることができました。活動内容としては、3名の方の診療、うち1名の方には処方も行いました。処方を受けた方は、その効



第2次隊出動

果も認められたようで、その後のフォローは地域の医療につながりました。

一瞬で財産も人とのつながりも奪われてしまう大規模災害。精神的不調に陥るのもやむを得ないと思います。

第1次隊の総移動距離はおよ



珠洲市の様子

そ2,300キロになりましたが、青森からでも支援できることはあります。皆さんも、ご関心ください。

最後になりましたが、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災した全ての皆様方の安全と一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。



珠洲市指揮所

※DPAT

自然災害や犯罪事件・事故等の集団災害が発生した場合、精神保健医療への需要が拡大する。被災地域の精神保健医療ニーズの把握、他の保健医療体制との連携、各種関係機関等とのマネジメント、専門性の高い精神科医療の提供と精神保健活動の支援が必要で、このような活動を行うために専門的な研修・訓練を受けた災害派遣精神医療チームが DPAT (Disaster Psychiatric Assistance Team) である。(DPAT活動要領より一部抜粋)

認知症ってなんだろう？

認知症看護認定看護師 加藤 猛雄

突然ですが、皆さんは「認知症」と聞くと、どんなイメージがあるでしょうか？

「認知症になったら何も分からなくなるんでしょ」「高齢者になる病気でしょ」「認知症になったら終わりでしょ」という方もいると思います。実は、認知症になったからと言って、すぐに何も分からなくなるわけではありませんし、必ずしも高齢者だけの疾患でもありません。

認知症の中には治る認知症もあります。そして、認知症の症状は、認知症のタイプやその人に

よって現れ方が違います。認知症の中で一番多いアルツハイマー型認知症は徐々に症状が進行しますが、投薬治療により症状の進行を遅らせる可能性があります。

また、認知症を見逃さないためにも、認知症の早期発見・早期治療が重要です。認知症を正しく知ることで、対策できることは沢山あります。

認知症看護認定看護師は、認知症に関して様々なお手伝いがで

きますので、「最近物忘れが多いな」「これってもしかして」と思ったら…

まずは相談してみませんか？

認知症相談専用電話
017-788-2988



家族教室通信



医療連携室 川崎 佑樹

令和5年11月21日に今年度2回目となる家族教室を開催し、青森市高齢者支援課の齊藤雄様を講師にお招きし、「成年後見制度」をテーマに講義していただきました。齊藤様は高齢者支援課では成年後見制度の相談業務に従事しており、当院で治療されている患者さんにも介入してもらったことがあるなど、当院と強いキズナのある方です。

講義では、成年後見制度の申請の流れ、成年後見人の役割などに関して、教科書だけではわからない部分も説明していただきました。質疑応答の時間では、「現時点でなにかできることはないか」という話題になり、病院でも相談窓口でも、つながりをもっておくことが大切であることを教えていただきました。

家族教室終了後、「大変よかった」、「もっとた

くさんの人に聞いてほしい」、「もう一度やってほしい」といった感想がよせられました。成年後見制度については例年好評で、他の回よりも多くの方に参加いただいております。ご要望に応えられるよう、関係機関と協働し、また企画したいと思います。

～3回目は3月1日(金)～

「退院後入所できる施設」をテーマに、講師には相談支援事業所やましろの工藤千笑様、青森市地域包括支援センターの田中愛様をお招きして開催します。

家族教室については、この広報誌「すぎな」や当院ホームページなどでご案内していますので、是非ご覧ください。



作業療法についてのQ & A

作業療法室 佐々木 美香

当院では、入院患者さん対象の作業療法プログラムを、主に病棟デイルームを使用して実施しています。当院に入院したことのある方であれば、作業療法を行っている場面を目にしたり、参加した経験があったりするのではないのでしょうか？

今回は、作業療法について患者さんからよく質問されることについてお答えします。

Q 作業療法のことを、なんでOTっていうの？

A 作業療法は英語でOccupational Therapy(オキュペーショナル・セラピー)といい、その頭文字を一つずつ取ってOTと言われています。Occupationalは作業、Therapyは療法と訳されるので、作業療法という名称になっています。



Q 退院したあと、作業療法に参加することは出来ないの？

A 平日の午前外来患者さん対象の作業療法を実施しています。生活リズムを整える、仕事に復帰する前の肩ならし、作品作りや体を動かして気分転換、自宅以外の居場所としてなど、様々な目的の方が利用しており、外来受診日のみの利用も可能です。利用を希望される場合は主治医にご相談ください。

